

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 ASTI株式会社  
 コード番号 6899 URL <http://www.asti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 善之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 野末 武志  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 名

TEL 053-444-5111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	26,110	—	698	—	189	—	△150	—
20年3月期第3四半期	27,149	5.7	1,194	△20.4	1,175	△21.8	601	△27.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△8.86	—
20年3月期第3四半期	35.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	21,640	—	12,665	—	58.4	—	743.56	—
20年3月期	21,994	—	13,457	—	61.0	—	789.99	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 12,628百万円 20年3月期 13,419百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	3.50	—	6.50	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△10.6	700	△58.7	0	△100.0	△350	—	△20.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	17,085,034株	20年3月期	17,085,034株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	101,394株	20年3月期	98,474株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	16,985,070株	20年3月期第3四半期	16,961,644株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月31日発表の通期連結業績予想を本資料において修正しております。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 当期連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国に端を発する金融危機が世界の金融システム・証券市場を大きな混乱に巻き込み、さらに下半期以降は各地域の実体経済へ波及し、世界同時不況の様相を呈しております。

日本経済においても、急激な円高や株価下落、個人消費の落ち込みなど、景気の悪化が一段と鮮明になってまいりました。

このような厳しい環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、通信・制御機器事業の販売増加があったものの、車載・家電用機能部品事業の販売減少が大きかったことにより、売上高は26,110百万円（前年同期比3.8%減）となりました。利益につきましては、車載・家電用機能部品事業における販売減少に加え急激な円高による海外子会社貸付金を主体とした為替換算損失などにより、営業利益は698百万円（同41.5%減）、経常利益は189百万円（同83.9%減）、四半期純損失は150百万円（前年同期は四半期純利益601百万円）となりました。

（注）当社グループでは、前第3四半期連結累計期間で適用した会計処理と、当第3四半期連結累計期間で適用した会計処理との差異が実質的に軽微であるため、この定性的情報の文中においては、対前年同期比をご参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して354百万円減少し21,640百万円となりました。有形固定資産の減少（前連結会計年度末と比較して334百万円減少）等が主な要因であります。負債合計は、437百万円増加し8,974百万円となりました。短期及び長期借入金の増加（同1,273百万円増加）及び支払手形及び買掛金の減少（同499百万円減少）等が主な要因であります。また、純資産合計は791百万円減少し12,665百万円となりました。これは利益剰余金の減少（同358百万円減少）及び為替換算調整勘定の減少（同310百万円減少）が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は58.4%となり、前連結会計年度末と比較して2.6ポイント減少しております。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、世界的な景気の急減速により自動車をはじめとする製造業において生産調整がさらに進むことや、円高に伴う海外子会社貸付金を主体とした為替換算損失が見込まれることから、第3四半期連結累計期間の業績及び今後の業界予想などを踏まえて平成20年10月31日に公表した平成21年3月期の通期業績予想（連結・個別）を修正いたしました。

詳細は平成21年1月30日に別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向や経済環境などさまざまな要因の変化により、実際の業績がこれらの見通しとは異なる結果となることもあり得ますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

### 4. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法は、主として定率法を採用し、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

##### ②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価の切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

##### ③税金費用の計算方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

- ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ806千円減少しております。

- ③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、従来の方によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,033,696	991,045
受取手形及び売掛金	7,328,618	7,760,878
製品	694,561	480,427
仕掛品	387,201	398,164
原材料及び貯蔵品	2,996,248	2,688,383
その他	833,056	899,315
貸倒引当金	△670	△711
流動資産合計	13,272,711	13,217,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,334,079	5,357,677
減価償却累計額	△2,581,578	△2,419,936
建物及び構築物（純額）	2,752,501	2,937,740
機械装置及び運搬具	4,499,316	4,371,441
減価償却累計額	△2,512,491	△2,294,628
機械装置及び運搬具（純額）	1,986,825	2,076,812
その他	4,503,262	4,384,746
減価償却累計額	△2,159,752	△1,981,504
その他（純額）	2,343,509	2,403,242
有形固定資産合計	7,082,835	7,417,795
無形固定資産		
のれん	13,019	—
その他	157,889	169,116
無形固定資産合計	170,908	169,116
投資その他の資産		
投資有価証券	292,119	467,305
前払年金費用	418,739	354,132
その他	427,654	392,086
貸倒引当金	△24,900	△23,750
投資その他の資産合計	1,113,613	1,189,774
固定資産合計	8,367,358	8,776,686
資産合計	21,640,070	21,994,189

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,995,125	3,494,783
短期借入金	3,171,226	2,168,956
未払法人税等	158,309	386,014
賞与引当金	234,398	407,250
製品保証引当金	11,403	11,783
その他	1,015,425	948,170
流動負債合計	7,585,888	7,416,958
固定負債		
長期借入金	1,127,600	856,505
退職給付引当金	13,527	16,572
その他	247,666	247,000
固定負債合計	1,388,793	1,120,077
負債合計	8,974,681	8,537,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,476,232	2,476,232
資本剰余金	2,640,082	2,640,082
利益剰余金	7,544,325	7,902,460
自己株式	△48,517	△47,765
株主資本合計	12,612,122	12,971,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,162	141,023
為替換算調整勘定	△2,859	307,261
評価・換算差額等合計	16,303	448,284
少数株主持分	36,962	37,860
純資産合計	12,665,388	13,457,154
負債純資産合計	21,640,070	21,994,189

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	26,110,086
売上原価	23,574,827
売上総利益	2,535,259
販売費及び一般管理費	
製品保証引当金繰入額	10,233
給料及び賞与	630,295
賞与引当金繰入額	169,107
退職給付引当金繰入額	43,427
その他	983,796
販売費及び一般管理費合計	1,836,860
営業利益	698,398
営業外収益	
受取利息	2,426
受取配当金	8,278
保険解約返戻金	18,373
その他	55,781
営業外収益合計	84,859
営業外費用	
支払利息	44,814
為替差損	532,955
その他	16,471
営業外費用合計	594,241
経常利益	189,016
特別利益	
固定資産売却益	4,332
前期損益修正益	1,682
特別利益合計	6,014
特別損失	
固定資産処分損	10,462
その他	1,907
特別損失合計	12,369
税金等調整前四半期純利益	182,661
法人税等	354,541
少数株主損失(△)	△21,402
四半期純損失(△)	△150,477

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	車載・家電用 機能部品事業 (千円)	通信・制御 機器事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	22,490,891	3,619,194	26,110,086	—	26,110,086
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,977	604,306	687,283	(687,283)	—
計	22,573,868	4,223,500	26,797,369	(687,283)	26,110,086
営業利益	689,982	54,504	744,486	(46,088)	698,398

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	22,413,314	3,696,771	26,110,086	—	26,110,086
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	713,751	1,753,358	2,467,109	(2,467,109)	—
計	23,127,066	5,450,129	28,577,196	(2,467,109)	26,110,086
営業利益又は営業損失(△)	763,643	△19,156	744,486	(46,088)	698,398

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	3,558,869	66,870	3,625,739
II 連結売上高(千円)	—	—	26,110,086
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.6	0.3	13.9

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	27,149
II 売上原価	23,934
売上総利益	3,214
III 販売費及び一般管理費	2,020
営業利益	1,194
IV 営業外収益	115
V 営業外費用	133
経常利益	1,175
VI 特別利益	49
VII 特別損失	49
税金等調整前四半期純利益	1,175
税金費用	576
少数株主損失(△)	△2
四半期純利益	601